

**製品名: RORγ ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17328**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	58kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RORC
別名	RORC; NR1F3; RORG; RZRG; Nuclear receptor ROR-gamma; Nuclear receptor RZR-gamma; Nuclear receptor subfamily 1 group F member 3; Retinoid-related orphan receptor-gamma
遺伝子 ID	6097.0
SwissProt ID	P51449
免疫原	抗血清はヒト RORG 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 71-120

**背景**

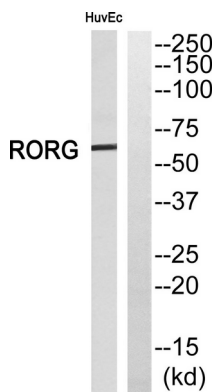
この遺伝子によってコードされるタンパク質は DNA 結合転写因子であり、核ホルモン受容体の NR1 サブファミリーに属します。こ

のタンパク質の具体的な機能は不明ですが、マウスにおける類似遺伝子の研究では、この遺伝子がリンパ器官形成に必須であり、胸腺形成において重要な調節的役割を果たす可能性があることが示されています。さらに、マウスにおける研究では、この遺伝子によってコードされるタンパク質が Fas リガンドおよび IL-2 の発現を阻害する可能性が示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: オーフアン核受容体,類似性: 核ホルモン受容体ファミリーに属する,類似性: 核ホルモン受容体ファミリー NR1 サブファミリーに属する,類似性: 核受容体 DNA 結合ドメインを 1 つ含む,組織特異性: 骨格筋で高発現する

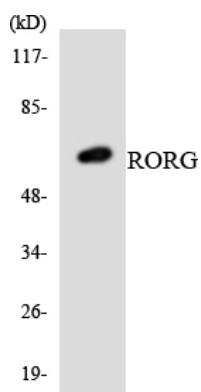
## 研究分野

シグナル伝達、成長因子/ホルモン、ホルモン、エピジェネティクスと核シグナル伝達、核シグナル伝達経路、核受容体、コルチコイド、転写、転写因子、神経科学、発達

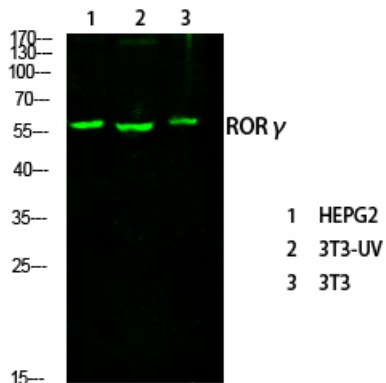
## 画像データ



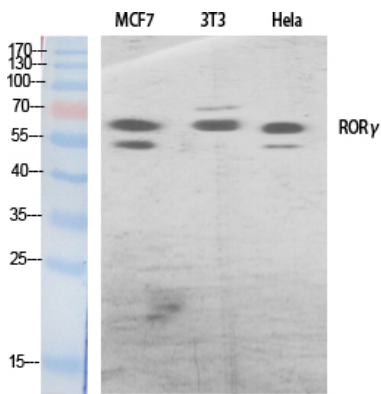
RORG 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは RORG ペプチドでブロッキングされている。



RORG 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



RORγ ウサギポリクローナル抗体 (1:1000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析 (4°C、一晚)。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)



1: 500に希釈した RORγ ポリクローナル抗体を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。